



No. 70  
2023 Winter

山松舎  
寺南臨

特集

# 瑩山禅師ものがたり ⑮



## 瑩山さまは能登の永光寺に移られて「女人済度」と「教団の融和」に取り組みました

### 山内に円通院を建立

瑩山さまは、出家された祖忍尼さまを、永光寺の寺域を寄進してもらったご恩に報いるため、厚く遇されました。まず、亡きお母様のために建てられた十二面観音堂のお守り役を申し付けられました。

三三二三年には、瑩山さまを永平寺に導いてくれた祖母の明智さまへの感謝の思いを込めて、永光寺の山内に円通院を建立されました。円通院には瑩山さまの髪の毛とへその緒を収められ、お母様が深く信仰された十二面観

音を本尊として安置されました。

その円通院を祖忍尼さまに与えられました。瑩山さまは、祖忍尼さまを祖母の明智さまの再来と考えられていたようです。

### 女人済度を祈願して

瑩山さまは円通院を、仏法を広めるだけでなく、女人済度を祈願する場所と位置づけられました。女人禁制は多くの仏教宗派で行われており、比叡山や高野山では明治初年まで女性が山内に入ることができませんでした。

た。

円通院は、瑩山門下の尼僧たちの根本道場という性格を持つことになりました。祖忍尼さまのほか、祖忍尼さまのお母様や瑩山さまの従妹にあたる女性など、多くの尼僧が集まり、永光寺の経済的な基盤を固める役割も果たしました。

### 教団の融和を目指す

三三三三年、瑩山さまは永光寺の背後の丘に、如浄さまの語録、道元さまの霊骨、懐焚さまが二行ごとに三拝して書かれた血経、義介さまの嗣書と霊骨、そして瑩山さま自筆の大乗経を埋納して、「五老峰」と名付けられました。五老とは、如浄、道元、懐焚、義介、瑩山の五人の老師を指します。

そして、翌年には五老峰の手前に伝燈院(開山堂)を造られました。堂内

の正面に五老の木造座像を奉安されました。

瑩山さまは、五老峰と伝燈院によって、日本の曹洞宗の初期の継承関係の三元化を示されたのです。師である義介さまは永平寺を追われて大乗寺に移りましたが、その原因となった教団内の混乱や内紛を憂慮された瑩山さまの、「二門の対立や分裂をやめて、道元さまの仏法を広めるといふ原点に立ち返りたい」——そんな強い使命感を感じます。五老峰は、教団融和の拠点として、後世の人々からも高く評価されています。



能登・羽咋市の永光寺の法堂

初詣ともなく来たり弁財天 酒井土子

## 新しい年の福を

弁財天祈禱会でお授かりになりませんか

弁財天様は七福神でただ一人の女性の神様。音楽の才能を育て、雄弁と智恵を授けられ、芸能や学問で成功に導き、金運や財運をもたらす有難い女神様です。

臨南寺の弁財天様は、かつて臨南寺の北側に広がっていた長居池の北之島にあった弁天堂を移したもので、古くから地域の守り神として信仰されてきました。

弁財天祈禱会では、『大般若波羅蜜多經』六百巻を転読いたします。この経典は、唐の高僧・玄奘三蔵がインドから中国へもたらしたもので、大きな霊力を持つと言われております。



皆様の無病息災と家内安全をご祈念いたします

皆様の無病息災・家門隆盛・家内安全を願って、お札、お守り、破魔矢をお授けいたします。新しい年が穏やかでありますよう、また世界中に平和が訪れますよう、心を込めてお祈りいたしますよう。

## 寺南景 百景



## 『福寿』の掛軸

この掛軸は、大本山總持寺の監院を務められた先代住職渡邊剛毅大和尚の筆になるものです。

福寿とは幸福で長命であること。『観音經』の中に、「福寿海無量」という言葉があります。観世音菩薩の功德は「福を集めた海のように限りがない」という意味です。ただ、その功德は計り知れず深く

大きいだけに、もたらされるものは私達にとつて必ずしも好ましいものばかりではありません。

愛する者との別れや突然の病気など、さまざまな苦悩や困難、それらもすべて観世音菩薩の功德なのです。それは私達に人生の奥深さを知らしめ、より人間的・精神的に成長させる効果があるからです。

失敗を成功のバネとし、不幸や不遇を転じて、幸福や長寿に結びつけようと善行を積み重ね努力する人にこそ、観世音菩薩は微笑むのです。人生は心がけ次第、見方次第で「福でいっぱい海」になり得るのです。



掛軸は休憩所でご覧いただけます



# 「はんにゃ心響」第三回

## 『謝罪の定義』

以前、知人に「謝罪の王様」という映画を観るように勧められたことがある。内容は「謝罪のプロ」が織りなすコメディ映画といったところか。謝罪の仕方いろいろあるもんだなあと感じた。

皆さんは誰かを傷つけたり嫌な思いをさせたら謝っているだろうか？ 私は謝るのが下手な方である。本質的にプライドが高いのだろう。妻と痴話げんかしてもよっぽどこちらに非が無ければ謝らない、恥ずかしながら。子どもたちには「悪いことしたらごめんなさいでしよう？」などと説教しながら、なんともお粗末なことだ。

後輩が私を知り合いに紹介するときによく言った。

「すごくお世話になつて先輩で、むちやくちや頼りになる人。なによりずっとええ謝らないんだ！すごいだろ？」

私は心の中で思った(それは…褒めてないのでは?)。しかし、過去を振り返ると「確実に自分が悪かった事」でも謝らずにいたり、笑って(もしくはキレて)誤魔化したりやり過ぎたことが多々あり、そんな自分に嫌気がさす。

近隣の僧侶が集まる会で親しい老僧がこんな話をしてくれた。



山形県酒田市 正常院住職  
成澤祐吾 老師

「私はねえ、もつと周りに優しく生きれば良かったと思つているよ。自分にも厳しかったつもりだが、妻にも謝ることを知らなくてねえ、亡くなってから散々謝つたけど…気付くのが遅かったなあ。自分が正しいとか正しくないというのは、時代や場面で違つて変わることがある。そういう時は、相手が悲しい思いをしている」と感じたら謝ればいいんだ。そのことに妻が死ぬまで気付けなかったのが後悔だ、修行が足りなかったなあワハハ」

この話を聴くまで私は、「自分が心から謝ろうと思わなければ謝るべきではない」「自分が正しいのだから謝る必要などない」ぐらい思つていた。老僧の「自分本位」ではなく「相手本意」の慈悲の心たるや…とてもありがたい教えでした。

名僧・沢庵和尚が「強い人は皆やさしい」と言つておられた。素直に謝ることができると「強さ」の本質はやはり「優しさ」なのである。

合掌

## 臨南寺行持予定 (一〜二月)

一月

### ○ 弁財天祈禱会 (本堂)

\* 一月十五日 午前十時〜十時半

新年を迎えて最初の年頭法要です。新しい年がよい年になりますよう、皆様の厄を払い福を招く法要を修行いたします。

二月

### ○ 釈尊涅槃会 (本堂)

\* 二月十五日

お釈迦様の御命日に、涅槃に入られるお釈迦様のお姿を描いた涅槃図を飾り、供養と感謝の法要を行います。

\* なお、中止することや変更する場合がございます。臨南寺のホームページでご確認いただくか、お電話でお問い合わせください。

寺務所の電話 ○六・六六九八・二〇〇二(九時〜十七時)

### 年末年始の臨南寺

\* 十二月三十一日〜一月三日は、寺務所を閉めさせていただきます。

\* 三が日の花の販売はございません。

\* 開門は午前五時、閉門は午後九時となっております。

### 早朝坐禅会

毎月第一土曜日 午前八時〜 本堂にて

\* 一月と八月はありません。中止する場合がありますので、前日にお電話でお問合せください。

## 秋のマトリ合同法要

### 白亜の堂内に読経が満ちる中 ご焼香をしていただきました

十二月十九日(日)午後二時から、がつしよう園マトリの合同法要が営まれました。

マトリにご納骨された皆様の法要が執り行われ、白亜の堂内に読経の声が続く中でご焼香をしていただきました。

「マトリ」とはサンスクリット語で「母」のこと。お母さまのふところに抱かれるような安らぎが得られますようにと祈る思いが込められています。



読経の声が満ちるマトリの中でご焼香していただきました

## お墓じまいのご相談は お早めに寺務所までどうぞ

「お墓を継いでくれる人がいない」「最近、お墓参りが大変になってきた」——今、さまざまな理由で墓じまいを考えている方が増えています。

ご先祖からのたくさんの思い出が詰まった、ご家族のための大切なお墓です。墓じまいといっても、何から手をつけたらいいのかわからない人がほとんどだと思います。

そうかといって、何もせずに先伸ばししていると、時間だけが過ぎてしまいます。万一、当事者が亡くなられると、役所の手続きを含めてさらに複雑さが増して、余計な費用も掛かってしまいます。お元気なうちに、早めに寺務所にご相談ください。

来年の五月～七月に  
本堂を改装します

令和六年の五月から七月にかけて本堂を改装します。それに伴い、五月から七月は本堂での法事を承ることができません。ご不便をおかけしますが、なにとぞご理解いただけますようお願い申し上げます。



### 編集後記

中学・高校の同級生の友人が定年後に短歌創りに目覚め、一日一首を目標に十数年続けていると聞きました。その話に刺激を受けて、「よし私もやってみよう」と思い立ったのも束の間。三日坊主どころか二日と続きませんでした。今や一週一首が精一杯の有様です。(M)

### 年末年始の墓参のゴミは コンテナにお入れください

年末年始の墓参で出たゴミは、設置されたコンテナにお入れください。墓苑を美しく清潔に保つていただきますようお願いいたします。

なおこのコンテナには、墓参でのゴミ以外は投棄しないでください。ご家庭のゴミは遠慮ください。

「ほ～っと」70号

令和5年12月

編集・発行：稜伽林「ほ～っと」

編集室

〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園1-32

TEL 06-6698-1001

FAX 06-6697-3330

Eメール：rinnanji@abeam.ocn.ne.jp

ホームページ：http://www.rinnanji.com